広報さの ■平成24年7月1日号 ■編集 佐野市 政策調整課

※本紙は資源保護のため再生紙を使用しています

こんにちは アイドル登場

人口と世帯数（６月１日現在）	人口の動き（５月分）
●人口123,785人(0)　●世帯48,927戸(＋47) 男 61,024人(＋30)　（ ）は前月比 女 62,761人(－30)	●出生 68人　●死亡 123人 ●婚姻 40組　●離婚 14組 ●転入 313人　●転出 258人

琉生（るい）ちゃん 平成20年9月生
遼（りょう）ちゃん 平成23年8月生

立川浩也・理恵さん（寺中町）

結斗（ゆいと）ちゃん 平成24年1月生

阿部友也・佳央理さん（堀米町）

楓愛（ふうあ）ちゃん 平成23年10月生

小川 淳・愛美さん（出流原町）

蕾太（らいた）ちゃん 平成23年4月生

大山充史・知香さん（植野町）

No.40 国指定史跡を目指して！ 唐沢山城跡（からさわやまじょうせき）

生涯学習課 ☎(61)1174

▲本光寺跡付近より秋山川を見下ろす

盛綱と本光寺

関東では、古河公方と関東管領・上杉氏が対立した享徳の乱（１４５５～１４８３）により、戦国時代に入り、佐野氏も古河公方の武将方として戦乱に巻き込まれていきます。

このなかで、佐野盛綱は唐沢山城の改修を行うとともに、麓の栃本周辺の整備を進め、これまでの清水城（吉水町）から拠点を移していったと考えられます。

文亀二（１５０２）年、盛綱により唐沢山城の北方に位置する青柳山麓の大黒沢（別名・本光寺沢）に、本光寺が創建されます。

「本光寺開創記」には、創建の経緯が、佐野氏と忍（おし）（現・行田市）の成田氏との戦いの様子とあわせて記されています。

大永七（１５２７）年に盛綱が没し、その廟所（墓所）が本光寺に築かれると、それ以後は佐野氏の菩提寺として栄えましたが、佐野氏の改易後に取り壊され、その後、栃本町の現在の場所に再建されます。

現在、大黒沢の本光寺跡地を訪れると、秋山川沿いに切り立った断崖の上に立地して眺望がきくことや、土塁状の地形もわずかに残っていることから、実際には防御施設としての性格も有していたようであり、戦乱の世に創建された寺院であったことを、あらためて実感することができます。

〒327－8501 栃木県佐野市高砂町１ ☎0283（24）5111
URL http://www.city.sano.lg.jp/ 携帯端末 http://www.city.sano.lg.jp/mobile/